



人間の行動原理と原則にもとづいた

smart creative management

【世界初】需要創造の芸術と科学

NEWS RELEASE

2021年7月16日

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所

ABA オペレーションズ研究センター

リクエスト株式会社

## 部下の自律性と創造性を上げる

# 『リーダーの行動シナリオ【理論編】』発売

芸術と応用行動分析学にもとづいた“需要創造の科学” smart creative management®を企業へ提供する

リクエスト株式会社は、ABA（応用行動分析学）オペレーションズ研究センターと共同でリーダー開発

を効率化する勘所（手法）の実験検証を完了いたしました。リーダー開発は事業運営・オペレーション

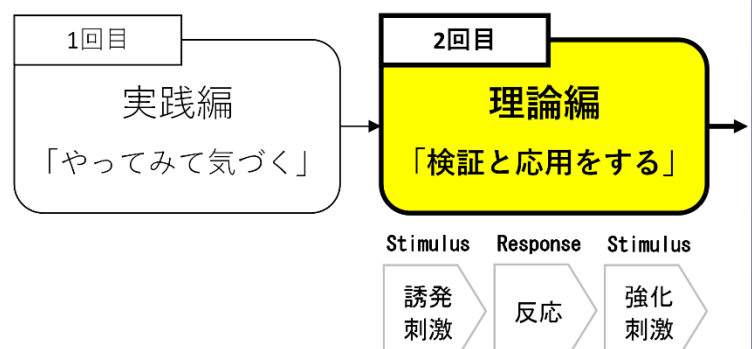
と需要創造・クリエイションの手段。目的を達成するための手段は、極限まで効率化し効果を上げる。

based on Art and Applied behavior analysis

Ver.45

## リーダーの行動シナリオ【理論編】

部下の自律性と創造性をOJT・実地訓練で上げる



芸術と応用行動分析学にもとづいた

smart creative management®

精神論を語っても、何度も繰り返しても相手は変わらない。どうすれば良いのか？

## ゴール

1. なぜ、相手は動いてくれないのか？
2. どうすれば相手は自発的に動いてくれるのか？
3. 自分が新たなことをはじめて、続けるには？

上記の理論を理解し、具体的な行動と思考の応用力を高める。

どのようなステップで人はやる気になるのか？より自発的になっていくのか？

## 人が成長を続けるために、たいせつなことは「〇〇た！」

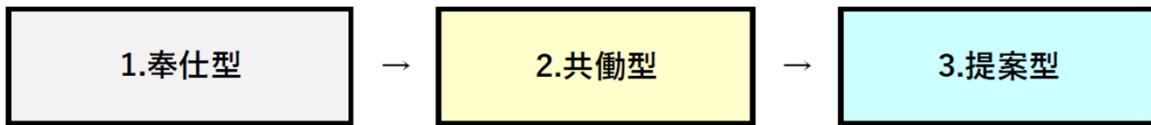
1. 自分の「名前を呼んでもらえた！」	※小さな存在承認
2. やることが具体的に「見えた(わかった!）」	※小さな達成感
3. そのやり方でやってみて「実際にできた!」	※小さな達成感
4. やっていることを具体的に「ほめられた!」	※小さな行動承認
5. つづくことで小さな「成果が出た!」	※小さな達成感
6. その小さな成果を「認めてもらえた!」	※小さな結果承認
↓	
7. 期待され仕事を「任された!」	※中くらいの存在承認
8. やり口を自分で「決められた!」	※自己コントロール感
9. 期待に「応えられた!」	※中くらいの達成感
↓	
10. 実現したいことが「みえた!」	※報酬の先取
11. 問題や解決策が「観えた!(洞察できた!）」	※中くらいの達成感
12. 構想した仮説が「あたった!」	※中くらいの達成感
13. 実現したいことに「近づいた!」	※中くらいの達成感
14. 「実現できた!」	※大きな達成感

外発的な動機付けから、内発的な動機付けに変わっていくステップ

Copyright © Smart Creative Management® Request Co., Ltd. All rights reserved.

# 人に関わり信頼を得ていくには順番がある。今のレベルにあったやり方が必要

## 人に関わり信頼を得ていく行動と思考のステップ



1 はじめは経験が不足しているため、奉仕型で相手の顕在化された問題を解決する。

奉仕型で進める過程で、相手と信頼関係をつくるやり方が身体感覚でわかる。

2 信頼関係ができることで、相手の行動と思考をパターン化できるようになる。

相手のありたい姿とそこに至る課題と解決策が、共働しながらみえてくる。

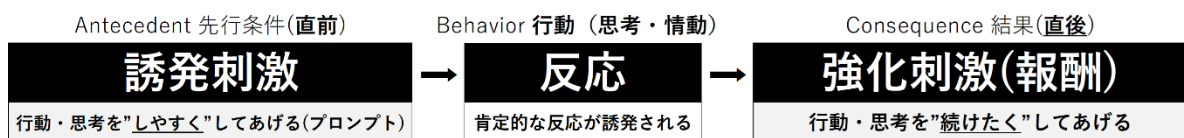
3 共働の過程で相手の行動と思考だけではなく感情と心理がわかるようになる。

相手の行動・思考・感情・心理を踏まえピンポイントな提案ができてくる。

Copyright © Smart Creative Management® Request Co., Ltd. All rights reserved.

# 人が行動と思考をはじめるとして続ける。その科学的な理論を頭で理解する

## 【重要な理論】



負担感がない・負荷がかからない(手間がかからずラクできる)

自己肯定感(有能感)が高まった

不安感が発生しない(安心できる/恐怖心が発生しない)

自己効力感(可能感)が高まった

自尊心が傷つかず上がる・気持ちが良い(否定されない)

快感が得られた(自己刺激含む)

報酬が得られる可能性に期待ができる(報酬勾配がある)

不快や苦痛・苦悩が緩和された(負の強化)

興味関心がわく(やりたいことが阻害要因なくできる)

孤立や孤独を回避できた(負の強化)

行動する目的・意味や背景がわかる(人や社会への貢献できる)

金銭が手に入った

Copyright © Smart Creative Management® Request Co., Ltd. All rights reserved.

## 自分の日常を題材にして、経験をとおして理論の具体的な勘所をつかみとる

### ABCモデルを使いこなすために一緒に考えたいこと

- ・なぜ、言い訳は上手くなるのか？
- ・なぜ、ムダにパチパチとキーボードをたたくのか？
- ・なぜ、資料をムダにつくり込むのか？
- ・なぜ、無意味な横文字を使う人がいるのか？
- ・なぜ、正論やキレイごとを伝えると動かないのか？
- ・なぜ、組織全体のPDCAは回らないのか？どうすれば良いのか？
- ・なぜ、全社員の目標管理は機能しないのか？どうすれば良いのか？
- ・なぜ、OJTが現場で進まないのか？どうすれば良いのか？
- ・なぜ、教えるべき相手に教えないのか？どうすれば良いのか？
- ・なぜ、チャレンジ目標は達成できないのか？どうすれば良いのか？

事業環境が変わり、私達が経験を通じて身に付けたやり方だけでは解決できない問題が増えています。

この状況を自社の機会に変えていくために、問題の解決方法を自律的に創り出す人材を 1 人でも多く

効率的に育てていく。そのポイントはリーダー開発の非効率を無くしていくことです。リーダー開発の

非効率を無くしていくためには、実験検証され再現性が担保された人間の“行動と思考の原理原則”と

“行動と思考を変えていく勘所”をまず頭で理解し、実際に使い経験し、肌感覚で理解することです。

各社固有の問題解決のプログラム開発も行っています。URL：<https://requestgroup.jp>

他社での取り組みなど具体的にお伝えいたします。[request@requestgroup.jp](mailto:request@requestgroup.jp) <https://requestgroup.jp/request>

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所 理事長  
ABA オペレーションズ研究センター センター長  
リクエスト株式会社 代表取締役  
甲畑智康



# 芸術と応用行動分析学にもとづいた smart creative management®



【会社概要】 社名： リクエスト株式会社 URL：<https://requestgroup.jp>  
代表者：代表取締役 甲畑智康 URL：<https://requestgroup.jp/profile>

【事業内容】：需要創造型リーダーの開発®、自律型人材(メンバー)の育成、ロボットのマネジメント：  
「リーダーが人とロボットと共働し需要を創る」をミッションに「需要創造型リーダー（まともなリーダー）と自律型人材（メンバー）に必要な思考と行動」「ロボットのマネジメント手法」の研究開発と実地訓練に取り組んでおり、約 840 社、従業員数 30,000 人の組織から年商 30 億円までの中堅企業、上場準備直前のスタートアップ企業への開発提供実績を有しています。また“需要創造の芸術と科学”をテーマに、人間と組織の行動に着目したビジネスの創造力、人間がマネジメントしやすいロボットのユーザーインターフェースの実験検証をするスマートクリエイティブマネジメント総合研究所と ABA オペレーションズ研究センターを構えている。スマートクリエイティブマネジメント®は弊社の登録商標です。

## 【過去の商品リリース】

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/68315](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/68315)

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

担当：未光

e-mail：[request@requestgroup.jp](mailto:request@requestgroup.jp)

問合せフォーム：<https://requestgroup.jp/request>



芸術と応用行動分析学にもとづいた  
smart creative management  
クリエイティブの再現

【無償公開】

## 『人材育成のムダ取り™』のやり方

～ 自律創造型の人材を効率的に育てる ～

imagine ultimate

弊社を知っていただくために、  
実際にクライアント先で使用しています  
テキストを無償公開しています。

以下の URL からご覧いただけます。

<https://requestgroup.jp/method>